

患者さんへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんの情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 本邦における院外心停止患者に対する **Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation (ECPR)**に関する多施設後向き観察研究 (SAVE-J II study)

[研究の目的]

院外心停止に対して通常の救命処置を行っても心拍再開が困難な症例に対して、早期に人工心肺を導入して脳蘇生の鍵となる脳血流を早期に再開させ、循環サポートをしながら原因疾患を治療する、という人工心肺を組み合わせた心肺蘇生法 (**Extracorporeal cardiopulmonary resuscitation : ECPR**) が注目されています。**ECPR** では、救命率、神経学的転帰の改善が期待されていますが、いまだ不明な部分も多いです。この研究では、過去に **ECPR** が施行された患者さんを対象としたデータベースを構築し、本邦での診療実態を明らかにし、生存率、神経学的転帰を調査し、**ECPR** の適応や転帰改善に寄与する因子を検討することを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

ECPR が施行された患者さんで、平成 25 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日の間に、救命救急センター及び下記研究組織に来院・入院された方

○利用する診療情報

診療情報：診断名、年齢、性別、社会経済的状況、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、病院前情報、来院時情報、治療時情報、補助循環、搬送等時間情報、体温管理、集中治療室入室後経過、転帰、など

[研究の期間]

倫理委員会承認日から 2025 年 12 月 31 日

[外部からの診療情報の提供]

利用する外部施設所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、電子システムを使用して、下記の研究組織より本学へ提供されます。

[研究組織]

香川大学大学研究協力員 / 兵庫県災害医療センター 救急部 井上 明彦

聖路加国際病院 救急部 一二三 亨 (副研究代表者)

帝京大学医学部 救急医学講座 坂本 哲也

香川大学医学部 救急災害医学 黒田 泰弘

[研究代表者]

香川大学大学研究協力員 / 兵庫県災害医療センター 救急部 井上明彦

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができません。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[当センターでの連絡先・相談窓口]

兵庫県災害医療センター 救急部副部長 井上明彦

住所：兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-3-1 TEL：078-241-3131, FAX：078-241-2772